

令和元年度 ねりま食育サミット実施記録

資料1-1

事業名	ねりま食育サミット
日時	令和元年7月27日(土)10時30分～16時00分
場所	JA東京あおば 石神井支店 AM 1階調理室 PM 3階ホール
参加者	AM ちゃんごはん 18組(36名) PM 講座・展示 180名
従事者	健康推進課栄養士 4名、保健相談所栄養士 4名 食育推進ボランティア 19名
対象者	地域の小・中学生及びその保護者、区民
目的	令和元年度練馬区で世界都市農業サミットが開催されるにあたって、その関連事業を練馬区食育推進ネットワーク会議第6期で検討し、JA東京あおばの協力を得て、食育を広く区民に伝える取り組みとして「ねりま食育サミット」を開催する。
実施内容	午前は、食育推進ネットワーク会議で検討事業化した子どもたちの食の自立に向けた取り組み「ちゃんごはん」を実施した(別紙参照)。 午後は、ねりまの食育応援店や練馬区の食育に関する部署が協力して、夏休みの自由研究のヒントとなるようなコーナー、野菜の栽培の体験コーナーなどを設けて子育て世代をターゲットにした取り組みを行った。
周知	区報(7/11号)、ホームページ、チラシ(近隣区立小学校3校には全校配布、区立小・中学校各校2部、区立保育園、各保健相談所、ふるさと文化館、図書館、石神井公園観光センター等)
PM各コーナー 実施内容 及び 配布物	<p>【練馬区 パネル展示・配布】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で作る朝ごはんコンクール(練馬区中学校教育研究会食育部)コンクール金・銀賞者のレシピ配布 ・世界の朝ごはんを知ろう(世界都市農業サミット担当課)世界都市農業サミットチラシ配布 ・もったいないを行動に！～食品ロス削減に向けて～(清掃リサイクル課)おいしく完食協力店チラシ配布 ・ねりまの食育応援店・ちゃんごはん紹介(健康推進課)フードモデル展示(ちょっと昔の食卓より1970年・2008年食事、350gの野菜)食育実践ハンドブック野菜とれとれ1日5とれとれ、ねりまの食育応援店情報誌配布 <p>【江古田ミツバチプロジェクト(ミツバチの「ひみつ」調べ)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展示、チラシ配布、はちみつの試食 <p>【JA東京あおば(練馬区でとれる野菜、果物の旬とは)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の種まき体験、野菜の種から野菜を当てよう JA発行キッズ向け冊子の配布 <p>【食育ミニ講座・試食】</p> <p>14:00～14:30 練馬でできるおみその話(糶屋三郎右衛門 店主)・パネル展示 糶屋三郎右衛門みそ2種 試食</p> <p>14:30～15:00 出汁こそすべて(小料理石井 店主) 削り節・まぐろ節、だし汁、すまし汁、みそ汁試食</p> <p>【食育グッズ配付】</p> <p>引換券交換により、グッズ(ちゃんごはん冊子、世界都市農業サミット付箋、野菜とれとれ缶バッジ、食品消しゴム)配布</p>

<p>当日の状況</p>	<p>前日(金)までに 配布物等を搬入。 8:45 健康推進課職員JA東京あおば石神井支店集合 9:30 ちゃんごはん従事ボランティア集合 10:30 ちゃんごはん開始 12:45 3階ホール担当ボランティア集合 13:00 3階ホール開場 14:00 食育ミニ講座開始 16:00 食育サミット終了 16:00～ 片付け 17:00 健康推進課職員解散</p> <p>・ちゃんごはんについては別紙参照 ・ホールは最初集客がなく、近隣の施設までチラシを配布しに行った。食育ミニ講座の開始間際になると、徐々に人が集まりだし、ミニ講座時には当初用意した席では足りず、椅子を随時出していき対応した。試食についても、ミニ講座の担当ボランティアでは人手が足りず、それぞれのブースの担当ボランティアのお手伝いで対応した。 ・ちゃんごはんの参加者は終了後ホールを見てくれていたが、ミニ講座への参加は時間が長くなってしまったこともあって、少なくなっていた。 ・ハチミツの試食やだしなどの試食はとても好評だった。削り節の香りがホールに漂っていた。 ・講座の途中で来客した方は、講座を聞いている雰囲気に入りづらいとの声もあったが、野菜の栽培体験などを進めることによって入りやすくなったようだった。ハチミツの試食を講座の最中止めていたが、講座に興味を持たない方もいたので、運営については検討が必要。 ・野菜の栽培体験や試食についてはとても好評だった。</p>
<p>考察・今後の注意</p>	<p>会場が便の良い所ではなかったにも関わらず、180名の来場があり、当日のチラシ配りの効果もあったものと思われる。周知方法については、体験・試食をができるコーナーを増やし、それを周知していくなどの検討が必要。</p>